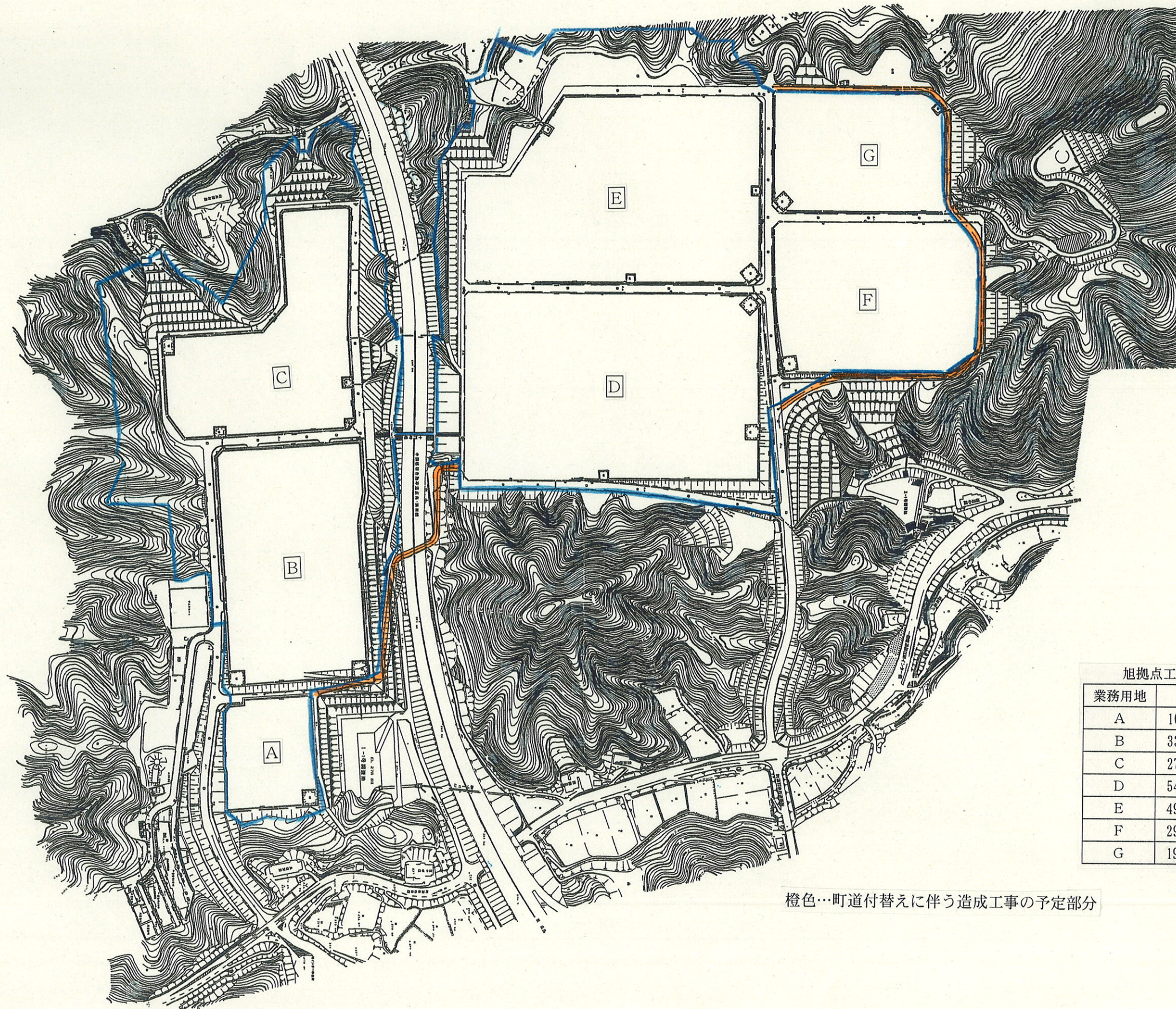


第4編 資料

【資料リスト】

No	資料名称	備考
資料1	建設用地の概要図	
資料2	土地調書	
資料3	ボーリング柱状図	造成前（H5調査3地点、H7調査9地点）
資料4	適用・参照基準の入手先一覧	
資料5	居室形態について	参考図（単独居室、共同居室）
資料6	受刑者の生活領域について	参考図
資料7	国家公務員宿舎に係る原状回復等の取扱いについて	
資料8	旭拠点工業団地図面リスト	

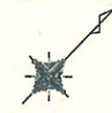
国が事業用地として取得する予定の概ねの範囲（青線内）

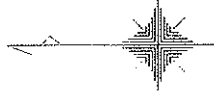


旭拠点工業団地

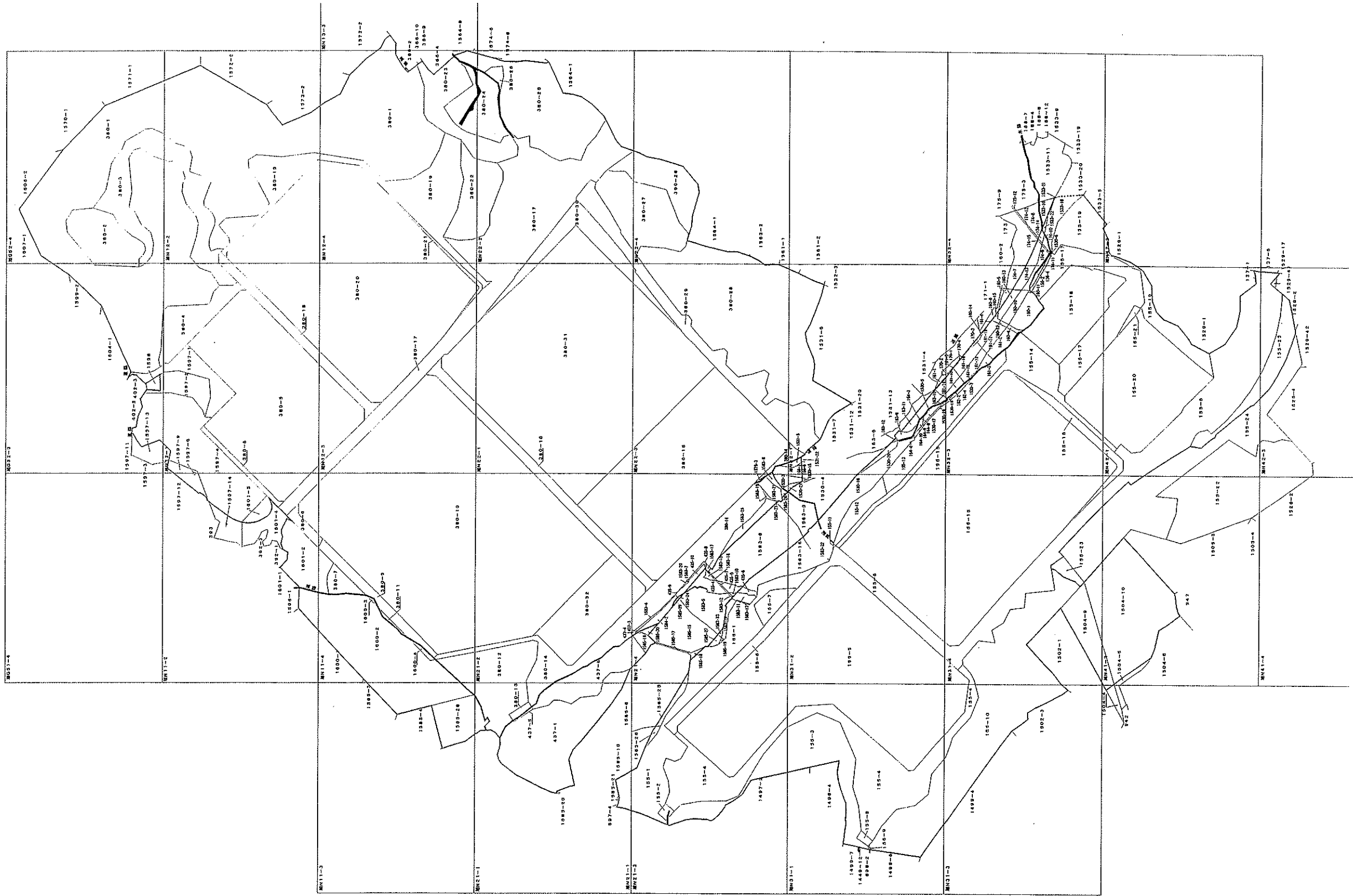
業務用地	面積
A	10,160.25 m ²
B	33,722.72 m ²
C	27,818.01 m ²
D	54,990.94 m ²
E	49,114.41 m ²
F	29,537.94 m ²
G	19,973.64 m ²

橙色…町道付替えに伴う造成工事の予定部分





S=1:4000



图G51-4

S=1:2000

图G52-3

图G52-4

图N11-2

图N12-1

图N12-2

图N11-3

图N12-3

图N12-4

图N21-1

图N22-1

图N22-2

图N21-4

图N22-3

图N22-4

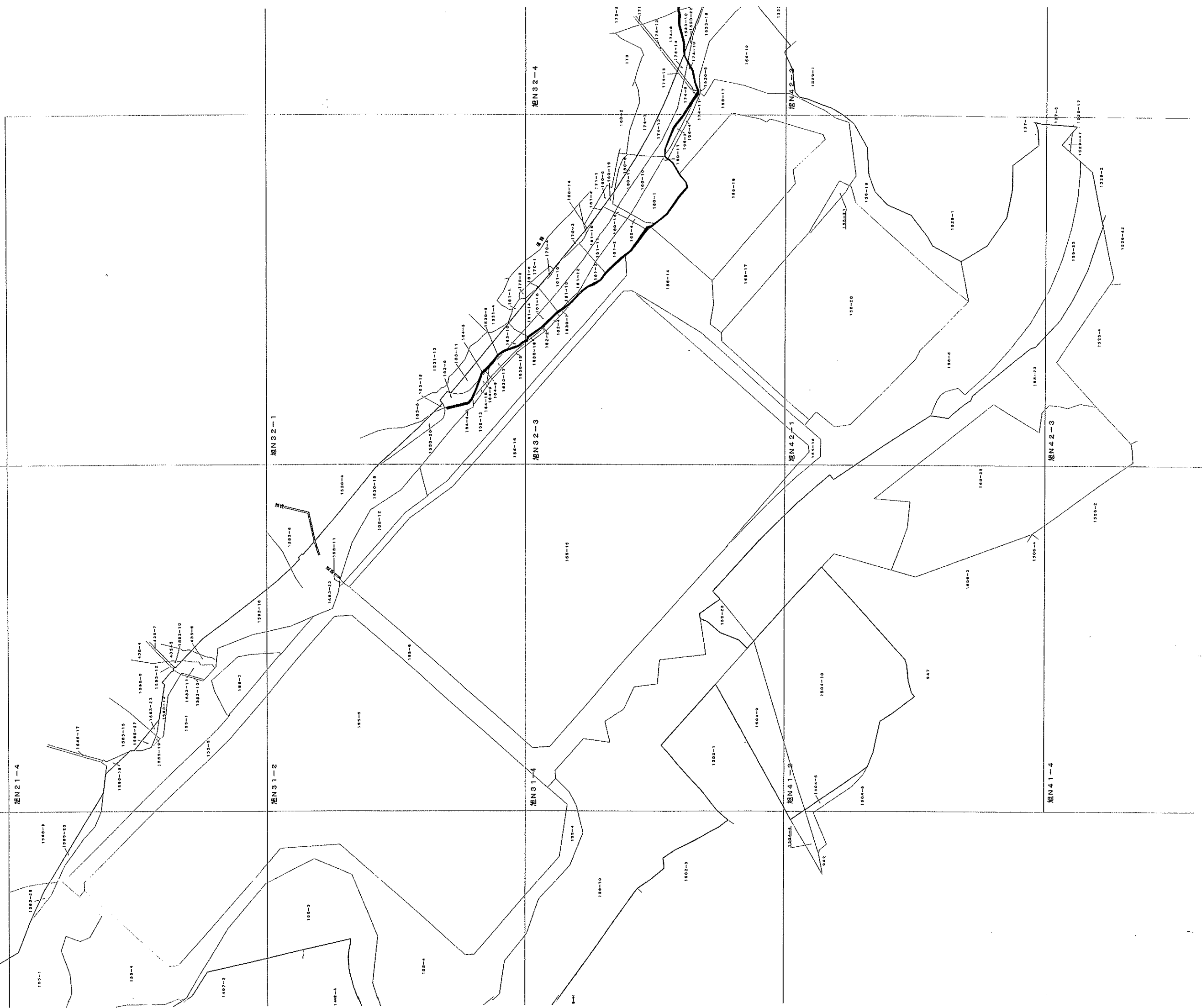
图N31-2

图N32-1

图N32-2



S=1:2000



業団地土地調書

所在地：島根県那賀郡旭町大字丸原

(Ⅰ工区)

地番	地目	地積(m ²)	所有者	摘要
155 - 1	雑種地	6,437	島根県	
155 - 3	雑種地	5,521	島根県	
155 - 4	雑種地	9,893	島根県	
155 - 5	雑種地	27,818	島根県	C区画
155 - 6	雑種地	15,868	島根県	
155 - 7	雑種地	670	島根県	
155 - 10	雑種地	13,793	島根県	
155 - 11	雑種地	4 73	島根県	
155 - 12	雑種地	879	島根県	
155 - 13	雑種地	2,642	島根県	
155 - 14	雑種地	3,158	島根県	
155 - 15	雑種地	33,722	島根県	B区画
155 - 16	雑種地	1,111	島根県	
155 - 19	雑種地	3,406	島根県	
155 - 20	雑種地	10,184	島根県	A区画
155 - 21	雑種地	130	島根県	
164 - 4	公衆用道路	1 29	旭町	
435 - 6	公衆用道路	88	旭町	
1530 - 16	公衆用道路	1,755	旭町	
1530 - 20	公衆用道路	168	島根県	
1583 - 11	公衆用道路	145	旭町	
1583 - 13	用悪水路	19	旭町	
1583 - 14	公衆用道路	159	旭町	
1583 - 16	公衆用道路	585	旭町	
1583 - 22	公衆用道路	553	旭町	
1583 - 23	公衆用道路	19	島根県	
1585 - 19	公衆用道路	11	旭町	
1585 - 25	公衆用道路	219	島根県	
1585 - 26	公衆用道路	75	島根県	
1585 - 27	公衆用道路	68	島根県	

(Ⅱ工区)

地番	地目	地積	所有者	摘要
166 - 2	雑種地	215	島根県	
380 - 5	雑種地	17,525	島根県	G区画
380 - 7	雑種地	563	島根県	
380 - 8	雑種地	420	島根県	
380 - 9	雑種地	1,282	島根県	
380 - 10	雑種地	44,113	島根県	E区画
380 - 11	雑種地	55	島根県	
380 - 12	雑種地	4,343	島根県	
380 - 14	雑種地	6,939	島根県	

(Ⅱ工区)

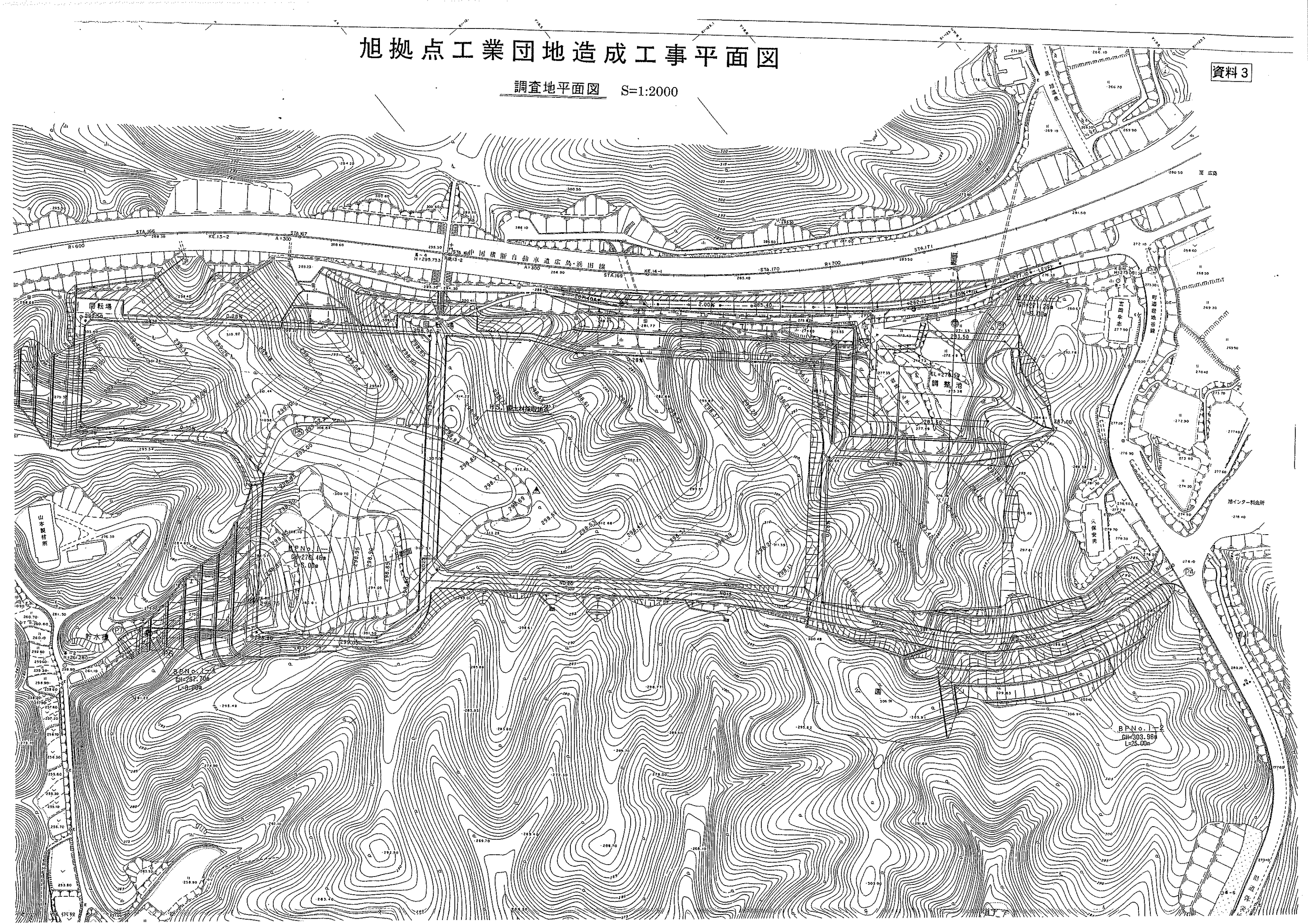
地番	地目	地積(m ²)	所有者	摘要
380 - 15	雑種地	19,650	島根県	D区画
380 - 16	雑種地	2,731	島根県	
380 - 17	雑種地	13,624	島根県	
380 - 18	雑種地	1,931	島根県	
380 - 19	雑種地	7,155	島根県	
380 - 20	雑種地	30,214	島根県	F区画
380 - 21	雑種地	332	島根県	
380 - 29	雑種地	5,221	島根県	
380 - 30	雑種地	2,658	島根県	
380 - 31	雑種地	35,451	島根県	D区画
380 - 32	雑種地	5,000	寺本建設	E区画
435 - 8	用悪水路	32	旭町	
435 - 9	用悪水路	2 22	旭町	
435 - 10	公衆用道路	166	島根県	
437 - 3	公衆用道路	2 46	島根県	
437 - 4	用悪水路	14	旭町	
437 - 6	雑種地	2,397	島根県	
1530 - 3	雑種地	198	島根県	
1530 - 21	公衆用道路	55	島根県	
1531 - 5	雑種地	76	島根県	
1575 - 3	公衆用道路	6 33	旭町	
1583 - 7	公衆用道路	5 22	島根県	
1583 - 8	雑種地	72	島根県	
1583 - 17	用悪水路	3 76	旭町	
1583 - 19	公衆用道路	26	旭町	
1583 - 20	用悪水路	16	旭町	
1583 - 21	公衆用道路	268	旭町	
1583 - 24	公衆用道路	5 15	島根県	
1583 - 25	公衆用道路	464	島根県	
1583 - 26	公衆用道路	28	島根県	
1583 - 27	公衆用道路	5 38	島根県	
1584 - 2	公衆用道路	240	島根県	
1584 - 3	用悪水路	58	旭町	
1585 - 16	用悪水路	207	旭町	
1585 - 28	山林	1,760	島根県	
1585 - 29	公衆用道路	13	島根県	
1585 - 30	公衆用道路	62	島根県	
1597 - 1	山林	1,644	島根県	G区画
1597 - 2	山林	793	島根県	G区画
1600 - 2	雑種地	8,574	島根県	
1600 - 3	雑種地	14	島根県	
1600 - 4	雑種地	77	島根県	
1601 - 2	山林	2,153	島根県	

※上記は平成17年8月現在の登記簿上の面積であり、今後分筆を行った上、国は必要部分を取得する予定である。

旭拠点工業団地造成工事平面図

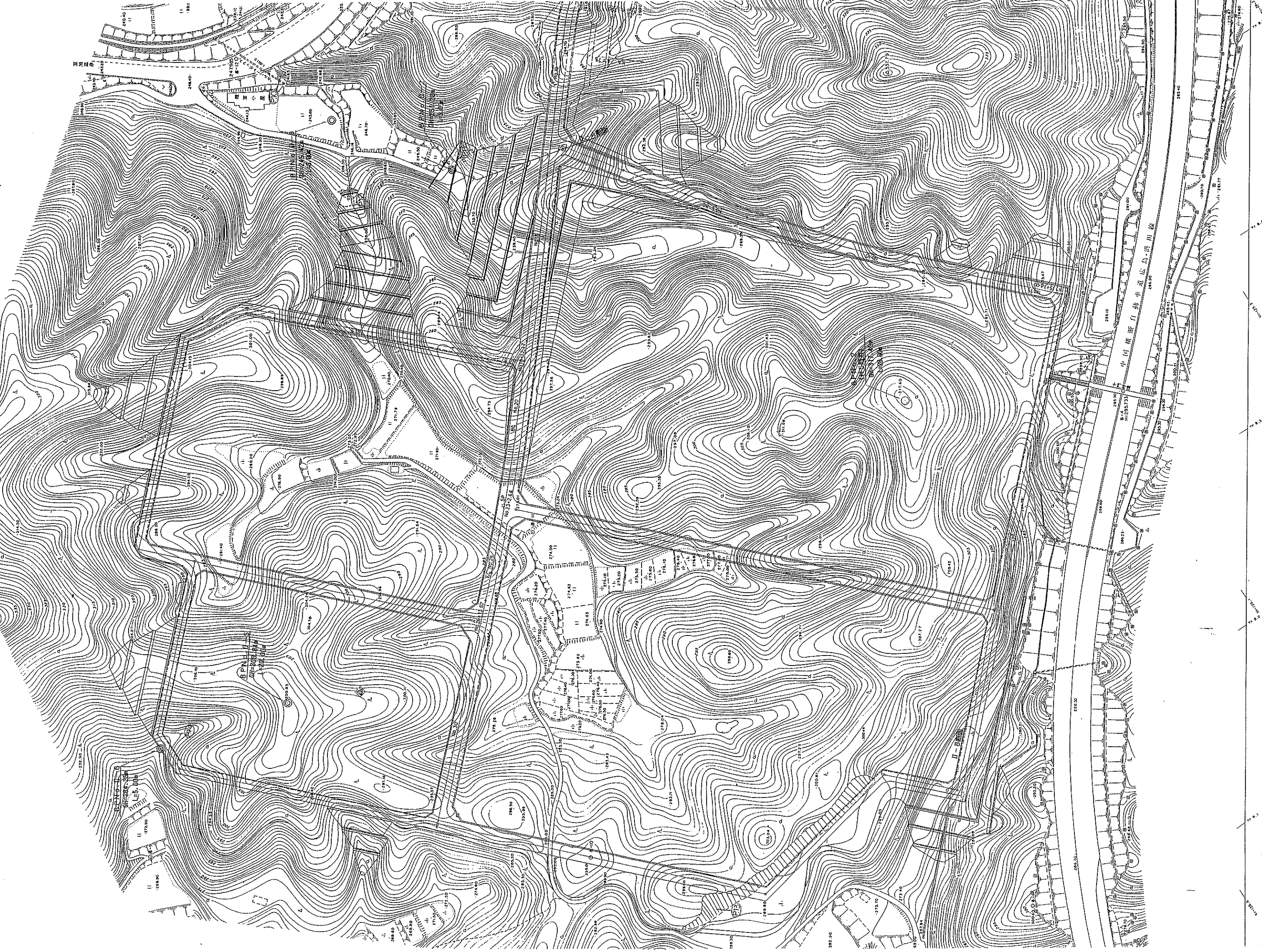
調査地平面図 S=1:2000

資料 3



旭拠点工業団地造成工事平面図

調査地平面図 S=1:2000



ボーリング柱状図

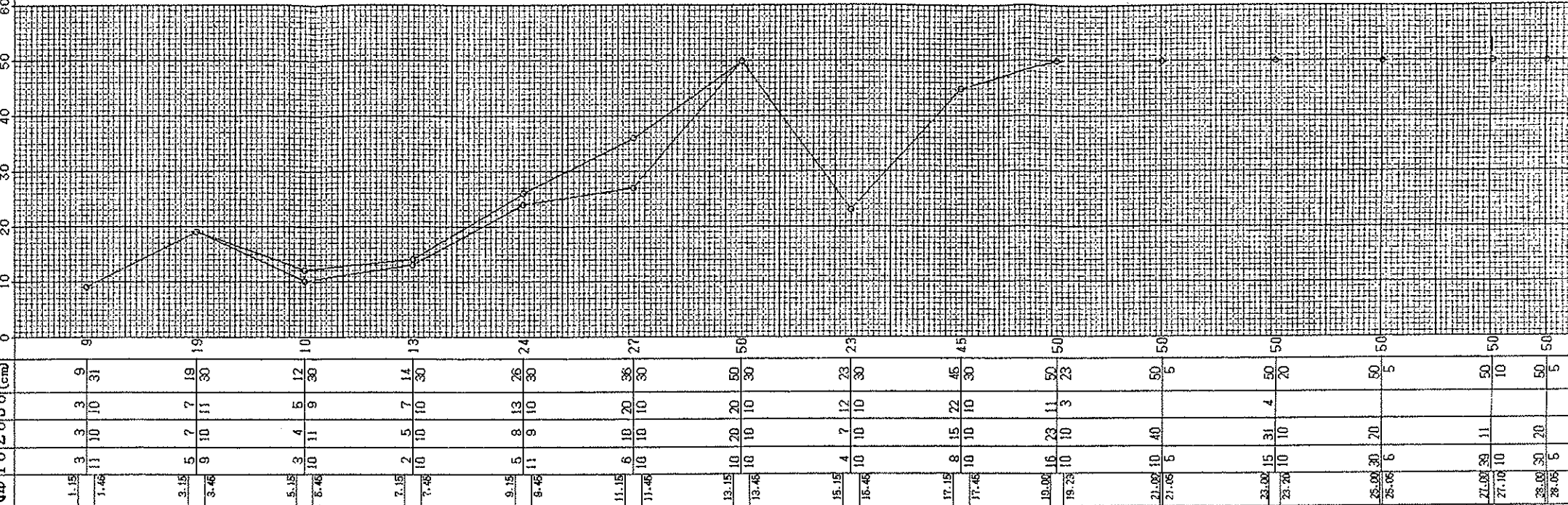
調査名 旭拠点工業団地造成方法検討調査委託工事

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	BP.NO.2	調査位置	島根県那賀郡想町丸原地内		シートNo.	北緯	〇' / 〇"
発注機関	企業局					東経	〇' / 〇"
調査業者名	(株)エイエトコンサルタント 0852-21-3375	主任技師	坪倉良治	調査期間	平成 5年10月30日～平成 5年11月 5日	ボーリング 担当者	高井忠一
孔口標高	317.40m	方角	北0° 220° 西 90° 東 180°	現場 代理人	石黒培彦	ア 了者	小山治香
総掘進長	28.00m	角度	180° 上 90° 下 0°	使用 機種	YBM-Y50-1	マ 下用具	自動落下
				エンジン	ヤンマーNS90C	ボ ンプ	東邦B6-3型

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験		位置試験		試験採取		掘進月日	
									深 (m)	N値	試験名	結果	試験番号	採取方法		
1		^^					砂質粘土～凝湿じり土状 粘性、含水比とも中位である 赤褐色～淡褐色を呈す 所々、風化礫状となる 1.45～1.70mはやや軟らかい 3.00m以深はやや締まっているが 、指圧にて土砂状となる 5.00～7.00mは黒色に変色した脈 が入る 7.60～7.70mは土砂状に破砕 が入る 8.30m付近は礫状となる									
2		^^														
3		^^														
4		^^														
5		^^														
6		^^														
7		^^														
8		^^														
9	9.00	^^	安山岩質 凝灰岩 強風化土				砂質土～凝湿じり土状 全体に風化進行しており、細粒分 多い 脆い 砕けて採取できると、亀裂多く、 脆い 10.65m付近は、砂質土砂状となる 12.70m付近は礫状となる（礫は石 灰）									
10		^^														
11		^^														
12		^^	安山岩質 凝灰岩 風化土													
13	13.00	^^														
14		^^														
15		^^														
16		^^														
17		^^														
18		^^														
19		^^														
20		^^	安山岩質 凝灰岩 風化土													
21	28.00	^^														
22		^^														
23		^^														
24		^^														
25		^^														
26		^^														
27		^^	風化 安山岩質 凝灰岩													
28	28.00	^^														



ボーリング柱状図

調査名 旭拠点工業団地造成工事土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	BPN. I-1	調査位置	島根県那賀郡旭町丸原地内		北緯	° ' "
発注機関	島根企業局	調査期間	6年12月19日～6年12月21日		東経	° ' "
調査業者名	(株)エイココンサルタント 0852-21-3375	現場代理人	三谷浩一	アア三谷浩一	ボーリング責任者	高井忠一
孔口標高	271.28m	試験機	鉦研KT-1型		ハンマー落下用具	
総掘進長	6.00m	エンジン	ヤンマーNS90C		ポンプ	東邦BG-3型

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対稠密度	対称度	記	孔内水位 (m) / 測定日	標準貫入試験				原位置試験 試験名および結果	試験料採取 採取方法 試験料番号	室内試験 ()	掘進月日	
									10cmの 打撃回数	10cmの 打撃回数	打撃回数の 平均値	N値					深度 (m)
270.42	0.80	0.80		黄色の 粘り 粘土	軟らかい		埋土、上位は植根を混入する 埋土層厚10cm程度、φmax30mm 全体に隔層物散在し若干有機質 岩水中位、粘姓中位~やや小 構にか2~5mmの細円礫を混入する GL-2.00~2.50m間には砂礫層との互 層 φmax30mm 著しく風化進行しており粘土混じり 砂礫状コア 若干風化状コア主体 部分的に粘着層を呈しシルト状 礫層下部ほど硬質化、亀裂少なくな る GL-3.70、4.85、5.60m付近は細粒化、 若干軟質で小規模な断面と考える			0.80		⊕	12月				
269.62	0.80	1.60		黄色の 粘り 粘土	軟らかい				2	30	2			⊕	12月		
268.82	0.80	2.40		黄色の 粘り 粘土	軟らかい				2	30	2			⊕	12月		
268.02	0.80	3.20		黄色の 粘り 粘土	軟らかい				2	30	2			⊕	12月		
267.22	0.80	4.00		黄色の 粘り 粘土	軟らかい				2	30	2			⊕	12月		
266.42	0.80	4.80		黄色の 粘り 粘土	軟らかい				2	30	2			⊕	12月		
265.62	0.80	5.60		黄色の 粘り 粘土	軟らかい				2	30	2			⊕	12月		
264.82	0.80	6.40		黄色の 粘り 粘土	軟らかい				2	30	2			⊕	12月		

旭拠点工業団地造成工事土質調査業務委託

ボーリング柱状図

調査名 旭拠点工業団地造成工事土質調査業務委託

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	BPN0. I-3		調査位置	島根県那賀郡旭町丸原地内		シートNo.	北緯		° ' "	
発注機関	島根県企業局		調査期間	7年1月5日～7年1月6日			東経		° ' "	
調査業者名	(株)エイトコサルタレント 0852-21-3375		現代理人	三谷浩一		ボーリング責任者	高井忠一			
孔口標高	276.46	m	試験機	鉦研KT-1型		ハンマー	落下用			
総掘進長	6.00	m	エンジン	ヤンマーNS90C		ポンプ	自動落下			
			主任技師	吾郷仁志						
			方位			地盤分配				
			角	180°		使用機種				

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対稠密度	記	孔内水位 (m)	測定月日	標準貫入試験		位置試験		試験採取		掘進月日
										深度 (m)	打撃回数 (C/N)	深度 (m)	試験名	試験番号	採取方法	
1	1.75	274.71	砂質土	軟らかい			崩壊土。腐植物を散在する。他種。深さ1.00m以下は細砂を混入。GL-1.45m以下は高含水。軟弱。試験部分に混入する。0~20cm程度。か?~20cm。全体に腐根。水等を混入する。GL-1.75~1.90m間は黒褐色を呈す腐。風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。	2.10	7	2	2	2				
2	1.75	272.96	砂質土	軟らかい			風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。	2.10	7	2	2	2				
3	1.45	271.51	砂質土	軟らかい			風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。	2.10	7	2	2	2				
4	1.55	270.06	砂質土	軟らかい			風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。	2.10	7	2	2	2				
5	2.25	267.81	砂質土	軟らかい			風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。	2.10	7	2	2	2				
6	2.25	265.56	砂質土	軟らかい			風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。風化著しく進行し、粘土質砂状。守山層。砂質土。	2.10	7	2	2	2				
7																
8																
9																
10																

(例) エイトコサルタレント

ボーリング柱状図

調査名 旭拠点工業団地造成工事土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリング名	B P N O . I - 4		調査位置	島根県那賀郡旭町丸原地内		シートのNo.	北緯		"
発注機関	島根県企業局		調査期間	6年11月30日～6年12月1日		東経	"		"
調査業者名	(株)エイトコンサルtant 0852-21-3375		現場代理人	三谷浩一		ボーリング責任者	高井忠一		"
孔口標高	267.70	m	主任技師	吾郷仁志		ハンマー落下用具			"
総掘進長	8.00	m	地盤勾配			エンジン	ヤンマーNS90C		"
			方向			ボンプ	東邦BG-3型		"

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	対相対稠度	記	標準貫入試験		原位置試験		室内試験		掘進月日
							深度 (m)	N値	深度 (m)	試験名および結果	採取方法	試験料番号	
1	1.10		埋土	軟らかい		埋土であり土質は不均質 上位0.10mまでは砂質土 GL-1.4m以深は高含水で軟弱、粘性 やや大 混入物は細砂、砂粒程度 団粒、木片等、不均質に混入する 旧耕層を多く混入し、やや軟弱 下層は均質で粘り強い 旧耕土 上位は均質粘り強い 粒径はφ2~50mm程度で不均質、30% 程度は均質粘り強い 均質粘り強い 均質粘り強い 均質粘り強い 均質粘り強い 均質粘り強い 均質粘り強い 均質粘り強い	2	2					2.00
2	1.45		砂質土	黄褐色	軟らかい		2	30					11.00
3	2.40		粘り強い砂質土	黄褐色	軟らかい		2	30					11.00
4	1.40		砂質土	黄褐色	軟らかい		3	4					11.00
5	4.55		均質粘り強い砂質土	黄褐色	軟らかい		33	36					11.00
6	1.25		安山岩	黄褐色	軟らかい		4	14					11.00
7	5.80		均質粘り強い砂質土	黄褐色	軟らかい		10	30					11.00
8	2.20		均質粘り強い砂質土	黄褐色	軟らかい		10	30					11.00
9	2.20		均質粘り強い砂質土	黄褐色	軟らかい		10	30					11.00
10	8.00		均質粘り強い砂質土	黄褐色	軟らかい		10	30					11.00

(備) エイトコンサルtant

ボーリング柱状図

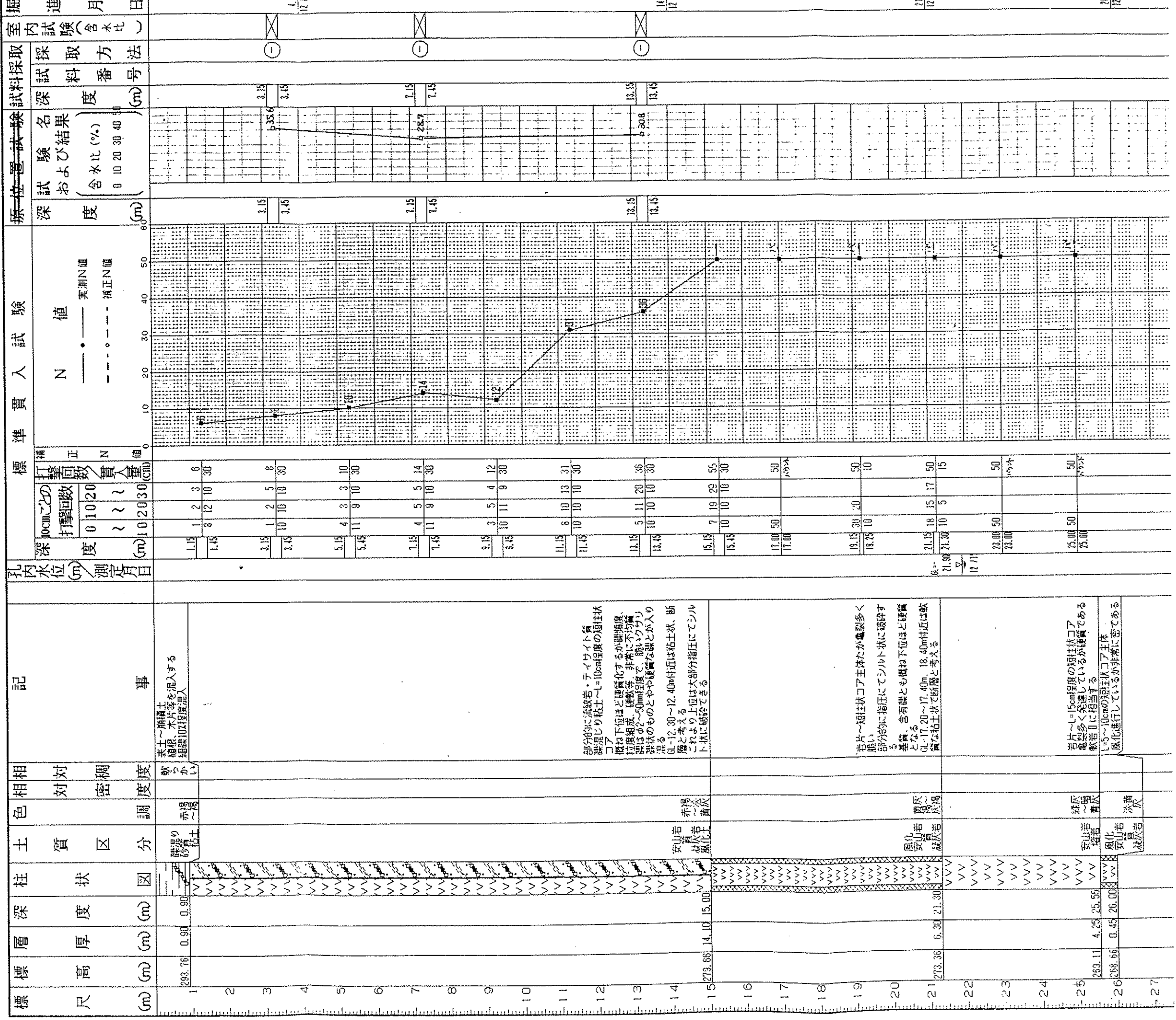
調査名 島根県那賀郡旭町丸原地内 旭拠点工業団地造成工事土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.																
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo. _____

ボーリング名	BPN0. II-1	調査位置	島根県那賀郡旭町丸原地内
発注機関	島根県企業局	調査期間	6年12月9日～6年12月15日
調査業者名	(株)エイトコンサルタント 0852-21-3375	現場代理人	三谷浩一
孔口標高	294.66	試験機	YBM-YSO-1
総掘進長	26.00	エンジン	ヤンマーNS90C
方位	北0° 東90° 西270° 南180°	主任技師	吾郷仁志
土質区分	軟弱粘性土	試験者	ア三谷浩一
柱状図		鑑定者	高井忠一
相対稠密度	軟らかい	落下用具	ハンマー
色調	赤褐色	ポンプ	東邦BG-3型
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			
相対稠密度	軟らかい		
色調	赤褐色		
土質区分	軟弱粘性土		
柱状図			



部分的に流紋岩・デイサイト質
凝り粘土 $L=10\text{cm}$ 程度の粗粒状
コア
概ね下位ほど硬質化するが軟弱度、
粒度組成、硬軟等、非常に不均質
なものが2-50mm程度で、細かいクワリ
混入のものやや硬質な塊が入り
混入
GL-12.30~12.40m付近は粘土状、断
層と考える
これより上位は大部分指圧にてシル
ト状に破砕できる

岩片~短柱状コア主体だが亀裂多く
脆い
部分的に指圧にてシルト状に破砕す
る
基質、含有鉄とも概ね下位ほど硬質
となる
GL-17.20~17.40m, 18.40m付近は軟
質な粘土状土で断層と考える

岩片~L=15cm程度の粗粒状コア
亀裂多く交差しているが硬質である
軟弱に相当する
L=5~10cmの短柱状コア主体
風化進行しているか非常に密である

ボーリング柱状図

調査名 旭拠点工業団地造成工事土質調査業務委託

ボーリングNo.														
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	B P N o. I-2	調査位置	島根県那賀郡旭町丸原地内		シートNo.	北緯	°	'	"
発注機関	島根県企業局	調査期間	6年12月26日～6年12月27日			東経	°	'	"
調査業者名	(株)エイコンサルタント 0852-21-3375	現場代理人	三谷浩一	アプア者	三谷浩一	ボーリング責任者	高井忠一		
孔口標高	251.28 m	主任技師	吾郷仁志		ハンマー	自動落下			
総掘進長	5.00 m	方位	北0° 東90° 西270° 南180°	地盤勾配	ポンプ				
		角度	上0° 下0°	備用機種	ヤンマーNS90C				
				エンジン	鉦研KT-1型				

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	対相	対密	度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験		原位置試験	室内試験		掘進月日
										深度 (m)	N値		試験名	試験結果	
250.68	0.00	二	砂混りシルト	暗褐色	軟	5	0	表土。樹根を多く混入する。粘性小さい。	0.0						12/26
249.68	0.00	一	砂混りシルト	暗褐色	軟	5	0	樹根は部分的に混入する。φmax40mm。樹根、腐植物混入。	0.0						12/26
248.68	0.00	二	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	樹根や多く20程度混入する。φmax30mm。高含水で著しく軟弱である。	1.15	3					12/26
247.68	0.00	三	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	部分的に細粒分主体で若干粘性あり。φmax50~2.75mm間はφ50~70mmの硬質な玉石。著しく風化進行、一部シルト状。	1.15	3					12/26
246.68	0.00	四	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
245.68	0.00	五	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
244.68	0.00	六	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
243.68	0.00	七	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
242.68	0.00	八	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
241.68	0.00	九	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
240.68	0.00	十	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
239.68	0.00	十一	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
238.68	0.00	十二	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
237.68	0.00	十三	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
236.68	0.00	十四	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
235.68	0.00	十五	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
234.68	0.00	十六	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
233.68	0.00	十七	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
232.68	0.00	十八	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
231.68	0.00	十九	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
230.68	0.00	二十	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
229.68	0.00	二十一	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
228.68	0.00	二十二	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
227.68	0.00	二十三	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
226.68	0.00	二十四	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
225.68	0.00	二十五	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
224.68	0.00	二十六	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
223.68	0.00	二十七	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
222.68	0.00	二十八	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
221.68	0.00	二十九	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26
220.68	0.00	三十	砂混りシルト	灰褐色	軟	5	0	著しく風化進行、一部シルト状。玉石混入。一部シルト状。	1.15	3					12/26

(株)エイコンサルタント

ボーリング柱状図

調査名 旭拠点工業団地造成工事土質調査業務委託
事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名		B P N O . II - 3	調査位置	島根県那賀郡旭町丸原地内			シートNo.			
発注機関		島根県企業局							北緯	〃
調査業者名		(株)エイトコムサルタント							東経	〃
調査業者ID		0852-21-3375		主任技師		吾郷仁志		ボーリング責任者		高井忠一
調査期間		6年12月23日～6年12月24日		現場代理人		三谷浩一		自動落下		
機軸高		245.42		試験機		鉤研KT-1型		ハンマ		
機軸長		6.00		エンジン		ヤンマーNS90C		落下用具		
方位		90°		地盤公配		0°		ハンマー		
方向		180°		地盤公配		90°東		ポンプ		
角度		0°		地盤公配		180°西		ヤンマーNS90C		

掘進月日	室内試験		標準貫入試験	原位置試験	試験結果			採取方法	
	試験名	および結果			試験番号	試験名称	試験結果		試験番号

標準貫入試験	N値			原位置試験	試験結果	採取方法
	実測N値	補正N値	調整N値			

標準貫入試験	調整N値	実測N値	補正N値	原位置試験	試験結果	採取方法
5	5	1.15	5	5	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2
10	14	1.45	14	14	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2
15	18	1.45	18	18	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2
20	21	1.45	21	21	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2
25	27	1.45	27	27	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2
30	30	1.45	30	30	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2
35	30	1.45	30	30	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2
40	30	1.45	30	30	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2
45	30	1.45	30	30	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2
50	30	1.45	30	30	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石	12/2

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対稠密度	相対湿度	記
1	244.22	1.20	1.20		軟弱粘土	暗灰	軟らかい	約70%	上位GL-0.40mまで耕作土 深はφ2~40mmの硬円盤、10%程度 濕入する
2	242.42	1.80	3.00		細粒分 凝灰質 砂質 粘土	暗赤褐	硬い	中位	GL-1.65~2.00m間は砂質分主体、この上下位に細粒分を混入する GL-2.50~2.80m間は凝灰質を呈する粘質土主体
3	242.42	1.80	3.00		凝灰質 砂質 粘土	暗赤褐	硬い	中位	硬質な安山岩質凝灰岩の玉石 Lmax 10cmの粗粒状コア
4	242.42	1.80	3.00		凝灰質 砂質 粘土	暗赤褐	硬い	中位	凝灰質主体の粘土状 凝灰質の粒径が粗大で、 硬質で、 2~40mmのやや硬質な餅を30%程度 濕入する
5	242.42	2.00	6.00		凝灰質 砂質 粘土	暗赤褐	硬い	中位	凝灰質主体の粘土状 凝灰質の粒径が粗大で、 硬質で、 2~40mmのやや硬質な餅を30%程度 濕入する
6	242.42	2.00	6.00		凝灰質 砂質 粘土	暗赤褐	硬い	中位	凝灰質主体の粘土状 凝灰質の粒径が粗大で、 硬質で、 2~40mmのやや硬質な餅を30%程度 濕入する

関係トココサルタント

ボーリング柱状図

調査名 旭拠点工業団地造成工事土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	B P N o . II - 5	調査位置	島根県那賀郡旭町丸原地内	シートのNo.	北緯
発注機関	島根県企業局	主任技師	吾郷仁志	調査期間	6年12月19日～6年12月23日
調査業者名	(株)エイトコサルサント 0852-21-3375	現場代理人	三谷浩一	調査場所	三谷浩一
孔口標高	309.84	試験機	YBM-YSO-1	試験者	ア
総掘進長	20.00	エンジン	ヤンマーNS90C	落下用具	ハンマー
		使用機種		ポンプ	自動落下
		方位	北0° 東90° 西270° 南180°	ポンプ	東邦BG-3型

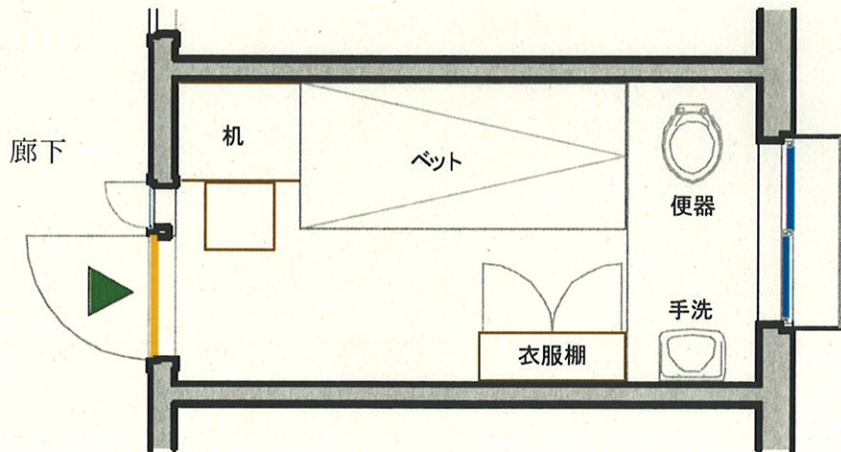
標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	記	孔内水位 (m) 測定日	標準貫入試験		位置試験		室内試験 (含水比)	掘進月日
							深さ (m)	N値	深さ (m)	試験名および結果 (含水比%)		
309.84	0.45	シルト質粘土	シルト質粘土	軟弱	細粒多く混入 含水や小、粘性や大		1.15	1.15	深さ 1.15	深さ 1.15	含水比 44.7	
309.39	9.05	安山岩 凝灰土	安山岩 凝灰土	赤褐色	風化著しく進行しており、湿潤し、粘り強い土質。短柱状コア。安山岩～デファイイ 概ね下位ほど硬質化する 上位の粘土状、凝灰土は強風化により硬質化、 凝灰土は脆いクラリ層とφ10mm前後のや や硬質な層がある GL-4.00~7.60m間は石英のみ弱風化 層として残る GL-7.60~7.80m間は著しく細粒化、 断層と考えられる これより以下のGL-9.45mまでは空質 により淡灰白色を呈するが、岩片～ 短柱状コア主体でやや硬質となる		5.15	5.15	深さ 5.15	深さ 5.15	含水比 5.30	
300.34	9.45	凝灰土	凝灰土	赤褐色			9.15	9.15	深さ 9.15	深さ 9.15	含水比 6.27	
							11.15	11.15	深さ 11.15	深さ 11.15		
							13.15	13.15	深さ 13.15	深さ 13.15		
							15.05	15.05	深さ 15.05	深さ 15.05		
							17.00	17.00	深さ 17.00	深さ 17.00		
							19.00	19.00	深さ 19.00	深さ 19.00		
289.84	10.55	凝灰土	凝灰土	淡灰白色	短柱状コア主体だが、亀裂多く、指 圧にてたやすく岩片状～塊状に砕 散し、硬質となる 概ね下位ほど硬質化する、SPTの貫 入量が小さくなる GL-14.30m付近は細粒化、淡灰白色 を呈しており断層と考える		17.00	17.00	深さ 17.00	深さ 17.00		
							19.00	19.00	深さ 19.00	深さ 19.00		

適用参照基準の入手先一覧

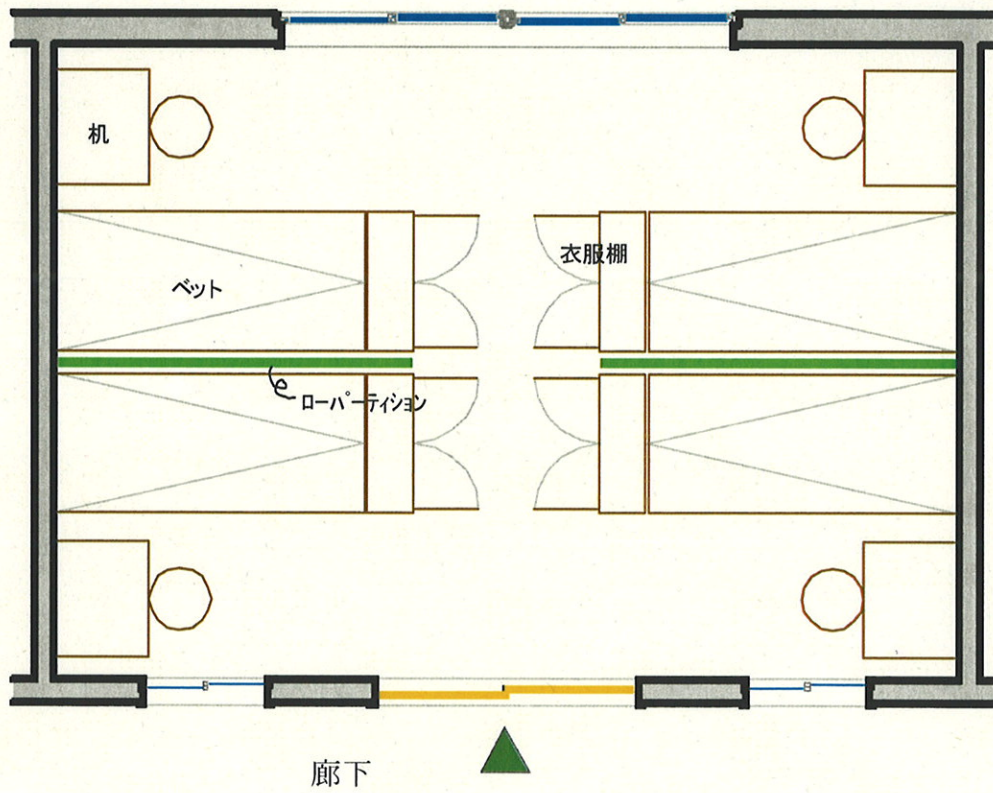
基準名	刊行物名称	発行先・入手先
【基準等】		
官庁施設の基本的性能基準	官庁施設の基本的性能基準及び同解説	(社)公共建築協会 (http://www.pba.or.jp/)
官庁施設の基本的性能に関する技術基準	官庁施設の基本的性能に関する技術基準及び同解説	(社)公共建築協会 (http://www.pba.or.jp/)
官庁施設の総合耐震計画基準	官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説	(社)公共建築協会 (http://www.pba.or.jp/)
建築設備計画基準	建築設備計画基準・要領(平成17年版)	(社)公共建築協会 (http://www.pba.or.jp/)
環境配慮型官庁施設計画	グリーン庁舎計画指針及び同解説	(社)公共建築協会 (http://www.pba.or.jp/)
建築CAD図面作成要領(案)	建築CAD図面作成要領(案)(平成14年11月改訂版)	国土交通省 (http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/cals/cals.htm)
営繕工事電子納品要領(案)	営繕工事電子納品要領(案)(平成14年11月改訂版)	国土交通省 (http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/cals/cals.htm)
建築設計業務等電子納品要領(案)	建築設計業務等電子納品要領(案)(平成14年11月改訂版)	国土交通省 (http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/cals/cals.htm)
建築工事安全施工技術指針	建築工事安全施工技術指針・同解説	(社)公共建築協会 (http://www.pba.or.jp/)
建築工事公衆災害防止対策要領 建築工事編	建築工事公衆災害防止対策要領 建築工事編	「公共建築工事標準仕様書(平成16年版)」資料編参照
建設副産物適正処理推進要綱	建設副産物適正処理推進要綱	国土交通省 (http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/index.htm)
建設産業における生産システム合理化指針	建設産業における生産システム合理化指針	国土交通省 (http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/const/kengyo/gourikashishin.pdf)
建築設備耐震設計・施工指針	建築設備耐震設計・施工指針(建設省住宅局建築指導課監修1997年版)	(財)日本建築センター (http://www.bcej.or.jp/)
セメント及びセメント系固化材を使用した改良土六価クロム溶出試験実施要領(案) 国有財産台帳等取扱要領	セメント及びセメント系固化材を使用した改良土六価クロム溶出試験実施要領(案) 国有財産台帳等取扱要領について(平成13年財理第1859号)	国土交通省 (http://www.mlit.go.jp/tec/kankyoku/kuromu.html) (http://www.kokuyuzaisan.go.jp/KOKUYU/PC/tsutatsu/KYTMOKUJI.cfm?kind=T2)
昇降機技術基準の解説	昇降機技術基準の解説(2002年版)	日本エレベーター協会 (http://www.n-elekyo.or.jp/)
【参照基準】		
公共建築工事標準仕様書	公共建築工事標準仕様書(平成16年版)	(社)公共建築協会 (http://www.pba.or.jp/)
公共建築設備工事標準図	公共建築設備工事標準図(平成16年版)	(社)公共建築協会 (http://www.pba.or.jp/)
敷地調査共通仕様書	敷地調査共通仕様書(平成11年版)	(社)公共建築協会 (http://www.pba.or.jp/)
建築保全業務共通仕様書	建築保全業務共通仕様書(平成15年版)	(財)建築保全センター (http://www.bmmc.or.jp/)
土木工事共通仕様書	土木工事共通仕様書(国土交通省監修)	国土交通省 (http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/menu.htm)
矯正施設用指定部品図集(平成17年版)	矯正施設用指定部品図集(平成17年版)	法務営繕協会 (http://www5.ocn.ne.jp/~ho-eizen/)
矯正施設用電気設備工事標準図	矯正施設用電気設備工事標準図(平成17年版)	法務営繕協会 (http://www5.ocn.ne.jp/~ho-eizen/)
矯正施設用機械設備工事標準図	矯正施設用機械設備工事標準図(平成17年版)	法務営繕協会 (http://www5.ocn.ne.jp/~ho-eizen/)
国土交通省制定土木構造物標準設計(1)(2)	国土交通省制定土木構造物標準設計(1)(2)	(社)全日本建設技術協会 (http://www.zenken.com/syuppan/syuppan.html)
公共住宅建設工事共通仕様書 平成16年 基盤整備工事共通仕様書・施工関係基準	公共住宅建設工事共通仕様書解説書 基盤整備工事共通仕様書・施工関係基準 平成16年7月	公共住宅事業者等連絡協議会 独立行政法人都市再生機構 (http://www.ur-net.go.jp/publication/hanbaisyoseki.html)
部品及び機器の品質・性能基準(建築編・電気編・機械編)	部品及び機器の品質・性能基準(建築編・電気編・機械編) 平成16年版(公共住宅事業者等連絡協議会)	独立行政法人都市再生機構 (http://www.ur-net.go.jp/publication/hanbaisyoseki.html)
機材の品質判定基準(建築編・電気編・機械編)	機材の品質判定基準(建築編・電気編・機械編) 平成16年版(独立行政法人都市再生機構)	独立行政法人都市再生機構 (http://www.ur-net.go.jp/publication/hanbaisyoseki.html)
日本住宅性能表示基準	日本住宅性能表示基準(国土交通省)	国土交通省 (http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/torikumi/hinkaku/kokuji/hyouji160401.pdf)

参考図

【单独居室】



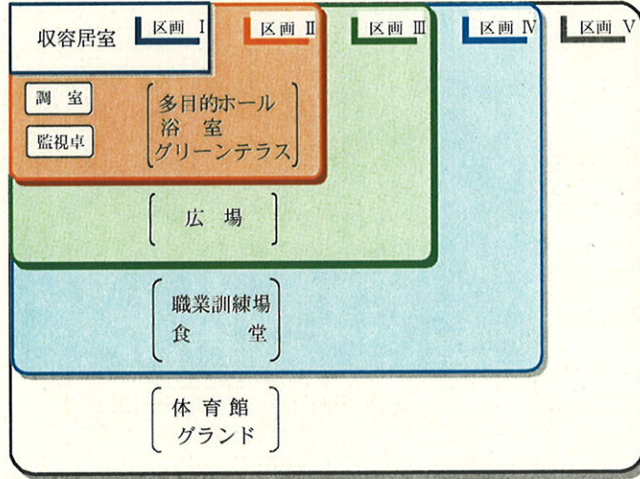
【共同居室】



受刑者の生活領域

- 区画 I : 受刑者の居室(閉鎖処遇、半開放処遇、開放処遇)、半開放ユニットは夜間閉鎖
- 区画 II : 収容所室ユニットに多目的ホール・浴室等のスペースを含めた区画(ユニット区画)
- 区画 III : 区画 II に運動、くつろぎ等の広場を含めた区画(ユニット区画)
- 区画 IV : 職業訓練(生産作業・考査作業・職業訓練)のスペースを加えた区画(ユニット区画または共用区画)
- 区画 V : 体育館・グラウンド等のスペースを含めた区画(共用区画)

【区画模式図】



主な諸室	受刑者の生活							
	食事	学習 クラブ活動	談話 リフレッシュ	職業訓練	運動	行事	入浴	面接

区画 I	収容居室	食事	学習					
	多目的ホール	食事	学習 クラブ活動	談話 リフレッシュ	職業訓練		行事	面接
区画 II	浴室						入浴	
	調室							
	グリーンテラス ^{注1}	食事		談話 リフレッシュ			行事	
区画 III	広場 ^{注2}	食事		談話 リフレッシュ		運動	行事	面接
区画 IV	職業訓練場				職業訓練			
	食堂	食事	学習					
区画 V	体育館					運動	行事	
	グラウンド					運動	行事	

注1)グリーンテラス

: 制限された生活範囲の中で、生活の単調化や拘禁感を緩和するために外部空間の利点を効果的に活用することを目的としている。緑化された外部空間とし、各ユニットの室内と連動した利用を想定している。なお、逃走等に対するセキュリティーは充分確保する必要がある。

注2)広場

: 制限された生活範囲の中で、生活の単調化や拘禁感を緩和するために外部空間の利点を効果的に活用することを目的としている。さらに、建物との組み合わせ方の工夫からの利用効果も期待している。なお、逃走等に対するセキュリティーは充分に確保する必要がある。

○ 国家公務員宿舎に係る原状回復等の取扱いについて

〔 財理第 2212号 〕
〔 平成15年6月6日 〕

財務省理財局長から各省各庁官房長等、各財務局長、沖縄総合事務局長宛

国家公務員宿舎（以下「宿舎」という。）に係る修繕、維持管理及び原状回復（以下「原状回復等」という。）については、下記のとおり取り扱うこととし、平成15年7月1日から適用する（被貸与者の退去時の原状回復等の措置については、平成15年7月1日以降に退去が行われる場合に適用する。）こととしたので、通知する。

なお、この通達は、宿舎設備の適正な整備水準の保持と負担の適正化との衡平を図ることを目的とする。

おって、昭和50年6月16日付蔵理第2488号「国家公務員宿舎に係る修繕費の取扱いについて」通達は、平成15年6月30日をもって廃止する。

記

1 国が費用を負担しない修繕の範囲

国家公務員宿舎法（以下「法」という。）第17条第2項ただし書の規定に基づき、天災、時の経過その他被貸与者の責に帰することのできない事由により宿舎が損傷又は汚損（以下「損傷等」という。）した場合において、その損傷等が軽微なものとして国がその費用を負担しない修繕（補修又は取替えその他適宜の方法をいい、以下「軽微修繕」という。）は、次のとおりとし、軽微修繕については、平成13年3月23日付財理第1032号「宿舎の貸与に関する取扱いについて」通達記の1の（1）に定める別紙第1号様式「宿舎貸与承認書」の2の宿舎貸与の条件（4）に基づき、被貸与者に実施させるものとする。

(1) 専用部分

イ 建具、畳等について

- (イ) 障子及び襖（戸襖を含む。）の張替え（障子は一枚単位、襖は原則として一組単位とする。）。
 - (ロ) 網戸の張替え。
 - (ハ) 硝子の入替え及びパテ（ゴムパテを含む。）の詰替え。
- (二) 把手、引手、錠、鍵、蝶番、戸車その他建具附属器具類の補修及び取替え

- (ただし、玄関のシリンダー錠及びドア・クローザーの取替えを除く。)
- (ホ) 畳表の裏返し及び取替え（一枚単位とする。）。
- (ヘ) 壁の塗替え及び壁クロス等の張替え（原則として一面単位とする。）。

ロ 電気設備について

- (イ) ブザー及びチャイムの補修及び取替え並びにインターホンの補修。
- (ロ) 各種スイッチ、プレート及びコンセントの補修及び取替え。
- (ハ) 照明器具の補修並びに電球、蛍光灯等の部品等の補修及び取替え。
- (ニ) 換気扇（ダクトのあるものは除く。）、部品等の補修及び取替え。

ハ 給水設備について

- (イ) 水道蛇口の補修及び取替え（ただし、混合水栓の取替えは除く。）。
- (ロ) 水道管の保温巻きの補修及び取替え（ただし、地下埋設部分（躯体埋込部分を含む。以下同じ。）を除く。）。
- (ハ) 水道管の凍結による漏水の補修（ただし、地下埋設部分を除く。）。

ニ 排水設備について

- (イ) 流し台のワントラップ、部品等の補修及び排水目皿の取替え。
- (ロ) 排水管、排水トラップ、溜樹等の清掃。
- (ハ) 溜樹蓋の補修及び取替え。

ホ 衛生設備について

- (イ) 洗面器、手洗器、洗濯機パン及びS・Pトラップの補修並びに栓、部品等の取替え。
- (ロ) 便器の便座、便蓋及び蝶番の補修及び取替え。
- (ハ) フラッシュバルブ、ロータンク及びハイタンクの部品等の補修及び取替え（ただし、タンク内部の部品一式の取替えは除く。）。
- (ニ) 便所内部品（ペーパーホルダー、タオル掛等）の取替え。

ヘ ガス設備について

- (イ) コック（器具又はゴム管を接続する個所。）の補修及び取替え。

ト 浴槽等について

- (イ) 浴槽の附属品の補修及び部品等の取替え。
- (ロ) 風呂釜及び給湯器（附属品を含む。）の補修及び部品等の取替え（ただし、

専門業者による施工を要するバーナー、熱交換器その他基幹部品等の取替えを除く。)

(ハ) 浴槽の蓋、その他浴室内の備品の補修及び部品等の取替え。

チ その他

(イ) 台所設備（流し、吊り戸棚、水切棚、防虫網、コンロ台等）の補修。

(ロ) 化粧箱及び化粧鏡の補修。

(ハ) 下駄箱の戸、蝶番、把手及び棚板の補修及び取替え。

(ニ) 傘立て、タオル掛、カーテンレール、棚板、ハンガーボード、帽子掛、名札掛、郵便受及び牛乳受の補修及び取替え。

(ホ) 物置の棚板の補修及び取替え。

リ 上記各項目から判断して、国が被貸与者負担とすることを適当と認めるもの。

(2) 共用部分

イ 集会場、自転車置場、児童遊園地、共同物置、共同給排水設備及び共同電気設備の上記(1)に準ずる補修及び取替え。

ロ 階段ノンスリップの補修及び取替え。

ハ 集合郵便受、集合札掛、掲示板及び案内板の補修。

ニ 共聴アンテナ、配線、部品等の補修及び取替え。

ホ ダストシュート、ダストボックス扉等の補修。

ヘ 花壇等の補修。

ト 囲障等の補修。

チ 車止め及び交通標識の補修。

リ 上記各項目から判断して、国が被貸与者の共同負担とすることを適当と認めるもの。

2 軽微修繕の実施方法

(1) 軽微修繕は、宿舍の損傷等のある部分について、維持管理機関の指示に従い、被貸与者において行うものとする。

(2) 軽微修繕は、施工上の斉一を考慮して必要最小限度の範囲にとどめるものとし、維持管理機関は、被貸与者の宿舍の管理状況、宿舍設備の適正な整備水準の保持、取扱いの公平性その他の観点から、被貸与者の負担も勘案のうえ、実施方法を指示するものとする。

(3) 被貸与者が軽微修繕を行うに当たっては、次のとおりとする。

(イ) 材料の品質、等級、施工方法等（以下「品質等」という。）は、国が設置したものの（以下「在来品」という。）と同等、又はそれ以上のものとしなければならない。

ただし、軽微修繕を行うものについて、過去に取替え、塗替え、張替え等（以下「更新」という。）が行われていることにより、在来品の品質等が明らかでない場合には、現に設置されているものが在来品又は標準的な品質等に比べて著しく異なるものと認められる場合を除き、現に設置されているものをもって在来品と同等とみなすことができる。

(ロ) 品質等以外の仕様（色、模様、デザイン等機能上の差異に影響を及ぼさないもの）については、極力、在来品と同様のもの（色、模様、デザイン等が似通ったものとし、疑義がある場合には維持管理機関が指示する。）とすることで足り、在来品と同一である必要はないものとする。

(ハ) 維持管理機関は、損傷等がない部分について、軽微修繕を行う部分との色、模様、デザイン等を揃えるための更新を指示することのないよう留意するものとする。

(4) 被貸与者が宿舎を退去するに際し、入居中に、既に、上記（3）に定める要件に合致する軽微修繕が行われている場合には、現に損傷等がない限り、更新は必要としない。

3 国が費用を負担しない維持管理の範囲

次に掲げる維持管理に要する費用については、すべて被貸与者の共同負担とする。

(イ) 宿舎の共用部分に係る電気代、水道代、ガス代等の光熱水料。

(ロ) 張芝、クローバー、樹木等植栽の維持管理（ただし、国が樹木を伐採等する場合は除く。）。

(ハ) 宿舎の共用部分に係る清掃及び草刈。

4 原状回復の取扱い

被貸与者の責に帰すべき事由による原状回復（法第16条第3項の規定に基づく原状回復をいう。）については、施工上の齟齬を考慮して、宿舎の損傷又は汚損の修復の目的から必要最小限度の範囲にとどめるものとし、上記1（障子、襖、畳及び壁の修繕単位に係る部分）及び2に定めるところに準じ、被貸与者に実施させるものとする。

I 工区図面リスト

資料 8

*造成地(平地部)の平面、横断、マンホール等を実測し作成

図面番号	図面の名称	図面の内容	実測の有無
1-1	現況図	造成前現況地形	航測写真
1-2	造成計画平面図	造成計画図	平地実測以外写真
1-3	現況図横断位置図	横断位置	平地実測以外写真
1-4	現況横断図	NO.0~NO.1	実測
1-5	現況横断図	NO.2~NO.3	実測
1-6	排水計画平面図	区域内排水施設計画図	平地実測以外写真
1-7	法面計画平面図	造成法面保護計画	平地実測以外写真
1-8	道路計画平面図	各種道路配置、名称	平地実測以外写真
1-9	污水計画平面図	污水管路配置、マンホール位置	平地実測以外写真
1-10	給水計画平面図	給水管路配置	平地実測以外写真
1-11	確定図	区画確定図、座標	実測
1-12	造成計画断面位置図	縦断図、横断図位置	航測写真
1-13	造成標準断面図	造成工標準断面	出来高図写真
1-14	造成縦断図	造成工縦断	出来高図写真
1-15	造成横断図	造成工横断図(NO1~NO3)	出来高図写真
1-16	造成横断図	造成工横断図(NO4~NO6)	出来高図写真
1-17	造成横断図	造成工横断図(NO7~NO9)	出来高図写真
1-18	造成横断図	造成工横断図(NO10~NO12)	出来高図写真
1-19	造成横断図	造成工横断図(NO13~NO15)	出来高図写真
1-20	造成横断図	造成工横断図(NO16~NO18)	出来高図写真
1-21	道路標準図	各種道路標準断面(幹線、補助幹線、管理道)	出来高図写真
1-22	道路縦断図	進入道路縦断図(NO0~NO20)	出来高図写真
1-23	道路縦断図	進入道路縦断図(NO20~NO32)	出来高図写真
1-24	進入道路横断図	NO0-2.7~NO0	出来高図写真
1-25	進入道路横断図	NO1	出来高図写真
1-26	進入道路横断図	KE1-1	出来高図写真
1-27	進入道路横断図	NO2	出来高図写真
1-28	進入道路横断図	NO3	出来高図写真
1-29	進入道路横断図	NO4	出来高図写真
1-30	進入道路横断図	NO5	出来高図写真
1-31	進入道路横断図	NO6	出来高図写真
1-32	進入道路横断図	NO7	出来高図写真
1-33	進入道路横断図	NO8	出来高図写真
1-34	進入道路横断図	NO9	出来高図写真
1-35	進入道路横断図	KA2-1~NO10	出来高図写真
1-36	進入道路横断図	NO11~NO12	出来高図写真
1-37	進入道路横断図	NO13	出来高図写真
1-38	進入道路横断図	NO14~NO15	出来高図写真
1-39	進入道路横断図	NO16~NO17	出来高図写真

図面番号	図面の名称	図面の内容	実測の有無
1-40	進入道路横断図	NO18~KA2-2	出来高図写図
1-41	進入道路横断図	NO19~NO20	出来高図写図
1-42	管理用道路計画図	1-4号管理用道路縦断図	出来高図写図
1-43	擁壁構造図	ブロック積擁壁(1-1号管理道路)	出来高図写図
1-44	擁壁構造図	ブロック積擁壁(1-1号管理道路)	出来高図写図
1-45	擁壁構造図	ブロック積擁壁(1-1号管理道路)	出来高図写図
1-46	擁壁構造図	ブロック積擁壁(1-4号管理道路)	出来高図写図
1-47	排水構造図	排水施設構造図(水路関係)	出来高図写図
1-48	排水構造図	排水施設構造図(水路関係)	出来高図写図
1-49	排水構造図	排水施設構造図(暗渠関係)	出来高図写図
1-50	排水構造図	排水施設構造図(集水柵関係)	出来高図写図
1-51	排水構造図	排水施設構造図(流末処理関係)	出来高図写図
1-52	排水構造図	排水施設構造図(マンホール関係)	出来高図写図
1-53	排水構造図	排水施設構造図(重圧管)	出来高図写図
1-54	貯水槽構造図	1-1号貯水槽	出来高図写図
1-55	貯水槽構造図	1-2号貯水槽	出来高図写図
1-56	階段構造図	斜路付階段工	出来高図写図
1-57	法面对策詳細図	盛土法面对策詳細	出来高図写図
1-58	縁石・その他構造図	境界ブロック	出来高図写図
1-59	公園計画図	公園平面図	出来高図写図
1-60	洪水調整池計画図	平面図	出来高図写図
1-61	洪水調整池計画図	提体縦断図	出来高図写図
1-62	洪水調整池計画図	提体断面図	出来高図写図
1-63	洪水調整池計画図	提体横断面図(NO0~NO2)	出来高図写図
1-64	洪水調整池計画図	提体横断面図(NO3~NO4)	出来高図写図
1-65	洪水調整池計画図	池内横断面図(NO A、NO B)	出来高図写図
1-66	洪水調整池計画図	付帯工構造図	出来高図写図
1-67	洪水調整池計画図	洪水吐一般図、構造図	出来高図写図
1-68	洪水調整池計画図	洪水吐横断図	出来高図写図
1-69	洪水調整池計画図	アーチカルバート構造図	出来高図写図
1-70	洪水調整池計画図	アーチカルバート構造図	出来高図写図
1-71	洪水調整池計画図	アーチカルバート詳細図	出来高図写図
1-72	洪水調整池計画図	洪水吐構造図	出来高図写図
1-73	洪水調整池計画図	洪水吐構造図	出来高図写図
1-74	洪水調整池計画図	スクリーン詳細図	出来高図写図
1-75	洪水調整池計画図	スクリーン組立図	出来高図写図
1-76	洪水調整池計画図	斜樋計画図(スピンドル詳細)	出来高図写図
1-77	洪水調整池計画図	斜樋計画図(全体図)	出来高図写図
1-78	公園施設構造図	階段工	出来高図写図
1-79	公園施設構造図	看板構造図	出来高図写図

II 工区図面リスト

*造成地(平地部)の平面、横断、マンホール等を実測し作成

図面番号	図面の名称	図面の内容	実測の有無
2-1	現況図	造成前現況地形	航測写真
2-2	造成計画平面図	造成計画図	平地実測以外写真
2-3	現況横断位置図	横断位置	平地実測以外写真
2-4	現況横断図	NO.0~NO.1	実測
2-5	現況横断図	NO.2	実測
2-6	排水計画平面図	区域内排水施設計画図	平地実測以外写真
2-7	法面計画平面図	造成法面保護計画	平地実測以外写真
2-8	道路計画平面図	各種道路配置、名称	平地実測以外写真
2-9	污水計画平面図	污水管路配置、マンホール位置	平地実測以外写真
2-10	給水計画平面図	給水管路配置	平地実測以外写真
2-11	確定図	区画確定図、座標	実測
2-12	造成計画断面位置図	縦断図、横断図位置	平地実測以外写真
2-13	造成標準断面図	造成工標準断面	出来高図写真
2-14	造成縦断図	造成工縦断(A基線)	出来高図写真
2-15	造成縦断図	造成工縦断(B基線)	出来高図写真
2-16	造成横断図	造成工横断図(NO0~NO2)	出来高図写真
2-17	造成横断図	造成工横断図(NO3~NO5)	出来高図写真
2-18	造成横断図	造成工横断図(NO6~NO8)	出来高図写真
2-19	造成横断図	造成工横断図(NO9~NO11)	出来高図写真
2-20	造成横断図	造成工横断図(NO12)	出来高図写真
2-21	道路標準図	各種道路標準断面(幹線、補助幹線、管理道)	出来高図写真
2-22	道路標準図	各種道路標準断面(工事用道路)	出来高図写真
2-23	道路縦断図	進入道路、II-1号幹線道路	出来高図写真
2-24	道路縦断図	II-1号補助幹線道路	出来高図写真
2-25	道路縦断図	II-3号区画道路	出来高図写真
2-26	進入道路横断図	NO0~NO4	出来高図写真
2-27	進入道路横断図	NO5~NO9	出来高図写真
2-28	進入道路横断図	NO10~NO11	出来高図写真
2-29	管理用道路計画図	II-2号工事用道路(平面、縦断)	出来高図写真
2-30	管理用道路計画図	II-2号工事用道路(横断)	出来高図写真
2-31	管理用道路計画図	II-2号工事用道路(舗装)	出来高図写真
2-32	管理用道路計画図	II-2号工事用道路(構造図)	出来高図写真
2-33	擁壁構造図	逆T式擁壁計画図(平面図)	出来高図写真
2-34	擁壁構造図	逆T式擁壁計画図(横断図)	出来高図写真
2-35	擁壁構造図	逆T式擁壁計画図(配筋図)	出来高図写真
2-36	擁壁構造図	補強土壁計画図(一般図)	出来高図写真
2-37	擁壁構造図	補強土壁計画図(横断図)	出来高図写真
2-38	擁壁構造図	補強土壁計画図(詳細図)	出来高図写真
2-39	排水構造図	排水施設構造図(水路関係)	出来高図写真
2-40	排水構造図	排水施設構造図(水路関係)	出来高図写真

図面番号	図面の名称	図面の内容	実測の有無
2-41	排水構造図	排水施設構造図(暗渠関係)	出来高図写図
2-42	排水構造図	排水施設構造図(集水柵関係)	出来高図写図
2-43	排水構造図	排水施設構造図(集水柵関係)	出来高図写図
2-44	排水構造図	排水施設構造図(集水柵関係)	出来高図写図
2-45	排水構造図	排水施設構造図(集水柵関係)	出来高図写図
2-46	排水構造図	排水施設構造図(集水柵関係)	出来高図写図
2-47	排水構造図	流末排水路計画図(平面、縦断)	出来高図写図
2-48	排水構造図	流末排水路(横断図)	出来高図写図
2-49	排水構造図	自由勾配水路(1-1号)	出来高図写図
2-50	排水構造図	自由勾配水路(1-2号、1-3号)	出来高図写図
2-51	排水構造図	自由勾配水路(1-4号～1-6号)	出来高図写図
2-52	排水構造図	自由勾配水路(1-7号)	出来高図写図
2-53	排水構造図	自由勾配水路(1-8号)	出来高図写図
2-54	排水構造図	自由勾配水路(2-1号、2-2号)	出来高図写図
2-55	排水構造図	自由勾配水路(2-3号～2-4号、3-1号)	出来高図写図
2-56	排水構造図	自由勾配水路(3-2号～3-3号)	出来高図写図
2-57	排水構造図	自由勾配水路(3-4号～3-5号)	出来高図写図
2-58	排水構造図	自由勾配水路(4-1号～4-2号)	出来高図写図
2-59	貯水槽構造図	平面図、一般図	出来高図写図
2-60	貯水槽構造図	配筋図	出来高図写図
2-61	貯水槽構造図	配筋図	出来高図写図
2-62	ボックスカルバート構造図	ボックスカルバート構造図	出来高図写図
2-63	階段構造図	Ⅱ-1公園擬木階段	出来高図写図
2-64	階段構造図	Ⅱ-2号階段	出来高図写図
2-65	法面对策詳細図	盛土法面对策詳細	出来高図写図
2-66	縁石・その他構造図	縁石工、境界ブロック	出来高図写図
2-67	公園計画図	Ⅱ-1～Ⅱ-4公園計画	出来高図写図
2-68	公園計画図	Ⅱ-5～Ⅱ-8公園計画	出来高図写図
2-69	洪水調整池計画図	平面図	出来高図写図
2-70	洪水調整池計画図	提体縦断図	出来高図写図
2-71	洪水調整池計画図	提体断面図	出来高図写図
2-72	洪水調整池計画図	提体横断面図(NO0、NO1)	出来高図写図
2-73	洪水調整池計画図	提体横断面図(NO2、NO3)	出来高図写図
2-74	洪水調整池計画図	提体横断面図(NO4、NO5)	出来高図写図
2-75	洪水調整池計画図	提体横断面図(NO6)	出来高図写図
2-76	洪水調整池計画図	洪水吐、取付水路構造	出来高図写図
2-77	洪水調整池計画図	放流施設構造	出来高図写図
2-78	洪水調整池計画図	スクリーン構造	出来高図写図
2-79	洪水調整池計画図	排水設備構造	出来高図写図
2-80	洪水調整池計画図	取水設備構造	出来高図写図
2-81	洪水調整池計画図	法面保護工構造	出来高図写図
2-82	洪水調整池計画図	法面保護工構造	出来高図写図

図面番号	図面の名称	図面の内容	実測の有無
2-83	洪水調整池計画図	取付護岸構造	出来高図写図
2-84	公園施設構造図	小構造物図	出来高図写図
2-85	公園施設構造図	小構造物図	出来高図写図
2-86	汚水計画図	管路縦断面図(1号管路)	出来高図写図
2-87	汚水計画図	管路縦断面図(2号管路、3号管路)	出来高図写図
2-88	汚水計画図	管路縦断面図(4号管路～6号管路)	出来高図写図
2-89	汚水計画図	管理設標準図、マンホール構造図	出来高図写図
2-90	汚水計画図	管理設標準図、マンホール構造図	出来高図写図
2-91	汚水計画図	管理設標準図、マンホール構造図	出来高図写図
2-92	汚水計画図	管理設標準図、マンホール構造図	出来高図写図
2-93	給水計画図	配水池進入路配管詳細図	出来高図写図
2-94	給水計画図	団地内配管詳細図	出来高図写図
2-95	給水計画図	横断橋部詳細図	出来高図写図
2-96	給水計画図	配水池進入路標準断面図	出来高図写図
2-97	給水計画図	埋設標準断面図	出来高図写図
2-98	給水計画図	標準掘削断面図	出来高図写図
2-99	給水計画図	標準掘削断面図	出来高図写図
2-100	岩盤コンター図	岩盤コンター図	出来高図写図